

PARCO News

遊びは必要? Thank you!

次世代型セレクトショップ「ぴやるこ」始動。

KEISUKE KANDA (ケイスケカンダ) やOhta (オータ)、POTTO (ポト) など、次世代を担うデザイナーのブランドを早くから取り扱ってきたセレクトショップ「ミキリハッピン」のオーナー山口荘大さんが、次世代型セレクトショップ「ぴやるこ」をオープンした。場所は渋谷パルコ PART1の4階。

組み合わせ方で色が変化する発行ブロック「メディアブロックチェア」や、自由に書き込んだ線に反応して映像が変化する「リアルスケッチピストン」などのインタラクティブな内装は、ウルトラテクノロジスト集団・チームラボが担当。ANREALAGE (アンリアルエイジ) やFACETASM (ファセツアズム) など、気鋭の国内ブランドがセレクトされた店内を、テーマパークのように楽しく彩っている。

「つまり、パルコという商業空間の中で、売る行為を第一の目的としないショップを作りたい」(山口さん)。

「各ブランドが提案するイメージを超えて、ジャンルを超えて、ファッションに興味がない人も巻き込んでいく。そんなファッションの実験の場でありたいと思っています」(山口さん)。

週末は名前を「ぱりゅこ」に変え、フリースペースに。土曜日は「writtenafterward (リトウンアフターワーズ)」のデザイナーの山縣良和さんが主宰するファッションのプライベートスクール「ここのがっこう」の教室になり、また、毎月1回は「MIG (ミグ)」の田口まきさんが中心になり「新世代が「今」を交換し、「未来」を考える研究所」を目指したGENERATION LAB. (ジェネレーション・ラボ) が主宰するトークイベントなどを開催していく。さらに、8月、9月とSFCの研究会やNPOドリフターズインターナショナルなど、いろんな「作用」を企画中。2012年、「ファッション」がリンケージする?!

ぴやるこ
渋谷パルコ PART1 4F

※取り扱いブランド:
keisuke kanda / FACETASM / ANREALAGE / is-ness / NIR / eimnou / spoken words project / PARADIGM SHIFT / sasaki katsura / torikonnia

TEL:03-3477-5828
<http://pyarco.asia>

今月の定点観測

2012年6月2日(土) 実施/第378回

2012年のボトムス3大トレンド

ショートパンツ/スキニーパンツ/ページピンク・スカート

今回は今春夏の女性の全ボトムスの3大トレンドを考察することにした。まずは、今春誰もがふつと着用するようになった、新定番アイテム「ショートパンツ=短パン/ショーツ」。女性にとっては、数年前からレギンスやグラディエーター、タウーストッキングなど、レングスというマーケットの拡大とともにトレンドからスタイルになったアイテムだが、男性のヒザ上丈のショーツが一般化したのは昨夏だろう。今夏は、カジュアルなアイテムにも関わらず、シャツや革靴などとコーディネートし、上品に着こなしているのが特徴だ。

ショートパンツの定義はヒザ上丈のパンツすべて。そのトレンド浸透率は、渋谷が女性9.3%、男性10.3%と他地点に比べて多かった点が注目される(原宿:女性14.7%、男性3.6%/新宿:女性10.7%、男性1.9%)。

もっとも多かったのは男女ともに色落ちしたブルーデニム。一方で、女性が黒で、男性はカラーデニムだった。しかし、別件の街頭撮影調査では、一部でアロハ柄の柄や花柄、カットオフした白デニムが浮上。今夏増えそうな印象を受けた。

一方、ショートパンツが一般化するなか、おしゃれな層の間で急浮上していたのが、ズームアップアイテム①とした「スキニーパンツ」だ。今シーズンはトップスの丈が短くなり、ファストファッションの店頭トルソーに見られるような、ヒップ部分を露出した外国人風のくわっかこいしに着こなしがポイントだ。この海外のトレンドをまっすぐなグループを「アジアモード系」と呼んでいる。

そして最後、②の「ページピンク・スカート」は、今年全国各地で着用されている今シーズンの日本人女性のマストアイテム。その甘くてかわい〜スタイルは、先日実施した「定点観測@長崎編」でも多数見かけたが、実はソラマチや有楽町ルミネでも少なくなかった。しかし、これらは、定点観測では2年ほど前から浮上していたアイテム(11年8月)で、まさに「トレンド2年越し現象」といえる。

グローバルなトレンドはフェミニンからマニッシュな方向へと緩やかにシフトしているが、東京はまだまだドメスティックなトレンドの影響が強いといえそうだ。

●調査概要:
●実施日:2012年6月2日 ●観察場所/時間:渋谷、原宿、新宿/12:00~17:00

⇒つづきは、ウェブで (<http://www.web-across.com>)

発行日/2012年7月1日 企画・制作・発行/株式会社パルコ 新規ブランニング部「アクロス」編集室
<http://www.web-across.com> 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町8-16 渋谷ファーストプレイス tel/03-3477-5711 mail/info@web-across.com
本誌の記事・デザインの無断転載を禁じます。こちらからもダウンロードできます <http://www.web-across.com>

カウント アイテム (今もっとも流行っているアイテムやスタイル、色など)

男女ショートパンツ着用 トレンド(流行)からスタイル(定番)へ。



カジュアルなショーツはシンプルな白シャツで上品に



オールドハワイやトロピカル柄など派手柄も人気
詳細はWEBで [interview](#)



近年の渋谷はとびきりオシャレな男子に遭遇する。



「将来は古着屋を経営したい」というアラサーファミリー
詳細はWEBで [interview](#)

ズームアップ アイテム (今はまだ数が少ないが、今後増えそうなアイテムやスタイル、色など)

1 スキニーパンツ

外国人風の清潔なシンプルスタイルの台頭



ヒョウ柄のレギパンは若機千夏のWCのもの
詳細はWEBで [interview](#)



「VERY」を読むようなLAセブには白スキニーが人気

2 ページピンク・スカート

2012年春夏の全国区級トレンド



日本のオリジナルの「カワイイ」ファッション



ワンピースはお友だちとお揃いのラグナムーンのものだろう。
詳細はWEBで [interview](#)

魅力的な書店像とは?!

新世代ブックスストア



写真2 書店を軸に、カフェやレストラン、アパレル、カルチャーセンターなどを併設した台湾の誠品信義店(2006年オープン、2008年リニューアル)

デジタルデバイスや電子書籍の普及が急速に進むテン年代。90年代半ば以降、メディアは若者の活字離れ傾向に警鐘を鳴らし、雑誌や書店など既存出版ビジネスの危機的状況を伝えているが、一方で、街場には従来の書店イメージに取まりきれないような新しいスタイルの書店が登場してきている。これまでacrossで取り上げてきた書店を中心に、多様化するブックスストアの動きをまとめることにした。

大型書店の新しいスタイル

2012年3月にオープンした代官山蔦屋書店(写真1)の登場は、地域にも書店ビジネスにも大きなインパクトをもたらした。40~60代の「プレミアム・エイジ」をコアターゲットに、料理、自動車、旅行、



写真1 2011年12月5日にオープンした代官山 蔦屋書店/代官山T-SITE。プレミアムエイジに向けてオトナ文化を提案し、代官山のまちの活性化にも一役かっている。

アート&デザイン、人文書を大きくフィーチャー。書籍にセル&レンタルのCD、DVDを揃えた「マルチ・パッケージ・ストア」という基本フォーマットは第1号店の江坂中央店(1986年)以来のものだが、大型書店内に専門書店をビルトイン。書店を核とした商業施設という新業態を作り出した。

7:00~翌2:00という営業時間の長さは近隣のクリエイターの打ち合わせやサードプレイスに。カフェやレストランといった飲食機能は、近隣の住民はもとより、平日週末を問わず、広域から幅広い層を集めており、代官山のまちの活性化に一役かっている。

このCDやDVDなどのソフトや雑貨を書籍とともに扱う「遊べる書店」というスタイルは、1986年に名古屋でスタートしたヴィレッジ・ヴァンガードが最初である。その後、1998年の下北沢出店から全国展開に拍車がかかり、2011年現在で365店舗(うち直営343店舗)という規模にまで成長している。

また、2009年にオープンした大阪の「スタンダード・ブックスストア」は、「ベストセラーは売ってません」のキャッチフレーズを掲げ、取次を通さず独自のセレクトで仕入れた書籍を、アパレルやファッション雑貨と同一の売場で編集した新しいタイプの書店として人気を集めている。併設したカフェでは展覧会やトークイベントを開催。その情報をツイッターやブログなどのウェブメディアで拡散するなど、独自のメディアとして機能している。

一方、大型書店の新しいフォーマットとして注目したいのが、台湾の誠品書店(写真2)だ。2006年にオープンしたフラッグシップの信義店は、書籍フロアの中にPCなどの情報家電やデザイン雑貨

